

文部科学省 新学術領域研究(平成26～30年度 領域番号 2608)  
 「地殻ダイナミクス－東北沖地震後の内陸変動の統一的理解－」  
 全体キックオフ会議プログラム

会場:2014年10月19日(日)～21日(火) 京都大学宇治キャンパス遠隔会議室(総合研究実験棟4階 HW401号室)

第1日目 10月19日(日)

<b>13:00-14:30 領域代表挨拶および総括班からの連絡</b>			
13:00-14:00	挨拶、経緯説明、全体計画:飯尾		
14:00-14:10	総括班紹介、事務局:武藤		
14:10-14:20	研究集会:竹下		
<b>14:30-16:20 A01班発表</b>			
14:30-14:55	松澤 暢	東北大学大学院理学研究科	計画研究A01「内陸地殻の強度と応力の解明」の概要
14:55-15:15	吉田 圭佑	防災科学技術研究所観測予測研究領域	東北日本内陸における応力の空間不均質と地形・大規模地震に伴う応力変化
15:15-15:35	伊藤 喜宏	京都大学防災研究所	経験的グリーンテンソル法による全国小地震のモーメントテンソル解析計画
15:35-15:55	岩田 貴樹	常磐大学コミュニティ振興学部	応力インバージョンの統計的手法の提案
15:55-16:20	議論(25分)		
<b>休憩(16:20-16:30)</b>			
<b>16:30-17:30 応力インバージョン・ミニセッション</b>			
16:30-16:50	招待講演 山路 敦(京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻):「各種地質構造を用いた応力インバージョン」		
16:50-17:30	コメント・討論 松澤・飯尾・松本他		

第2日目 10月20日(月)

9:30-11:30 B03班発表			
9:30-9:55	飯尾 能久	京都大学防災研究所	計画研究B03「地殻流体の実態と島弧ダイナミクスに対する役割の解明」の概要
9:55-10:15	小川 康雄	東京工業大学火山流体研究センター	地殻流体の3次元イメージング
10:15-10:30	渡邊 了	富山大学大学院理工学研究科	岩石の地震波速度と電気伝導度の流体量依存性
10:30-10:45	石川 正弘	横浜国立大学大学院環境情報研究院	多結晶体の焼結実験と岩石の弾性波速度測定実験
10:45-11:05	田中 秀実	東京大学大学院理学系研究科	流体フラックスの測定
11:05-11:30	議論(25分)		
11:30-13:30 ポスター発表・昼食			
A01	岡田 知己	東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター	東北沖地震前後の東北地方の地震活動 - A01班による東北(秋田および福島・山形)の地震観測計画について
A02	平松 良浩	金沢大学理工学域自然システム学類	コーダ波でみる下部地殻の大きな応力蓄積速度
A02	吉田 武義	東北大学大学院理学研究科名誉教授	後期新生代東北本州弧における応力場の変遷と3.11東北沖地震
A02	宮川 歩夢	産業技術総合研究所地質情報研究部門	応力からみる断層活動性の時間変化
B01	酒井 慎一	東京大学地震研究所	超稠密0.1満点観測は露頭観察にどこまで迫れるのか
B01	藤本光一郎	東京学芸大学教育学部	水岩石相互作用から見た断層構造の発展
B01	亀田 純	北海道大学大学院理学研究院	鉱物組成から見る断層の強度不均質
B01	加藤愛太郎	名古屋大学大学院環境学研究科	応力・亀裂方位分布および余震分布から何が分かるのか、及び地質との融合研究 (松本・加藤・酒井・小林との共同発表)
	宇野 正起	東北大学大学院環境科学研究科	蛇紋岩ブロック中の反応誘発クラッキングと物質移動 - サンアンドレアス断層直上, レッドウッド蛇紋岩岩体から-
C01	矢部 康男	東北大学大学院理学研究科	地震時ひずみ異常を考慮した東北日本のレオロジーモデル
学生	前田 純伶	東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻D1	近畿地方における定常的内陸地震活動と地質構造の関係
学生	平田萌々子	東北大学理学研究科M2	Roweの法則を用いた摩擦の不安定性評価
学生	菊地 和平	東北大学理学研究科地学専攻 D1	褶曲の自己アフィン性: 方向性次元解析
学生	本多 聡子	横浜国立大学大学院環境情報学府D1	曹灰長石ナノ粉末を用いた多結晶体の作製
学生	坪川祐美子	横浜国立大学大学院環境情報学府M2	ディオプサイド細粒多結晶体の焼結

13:30-15:30 B01班発表			
13:30-13:55	竹下 徹	北海道大学大学院理学研究院	計画研究B01「観察・観測による断層帯の発達過程とマイクロからマクロまでの地殻構造の解明」の概要
13:55-14:05	豊島 剛志	新潟大学大学院自然科学研究科	下部地殻のレオロジーと上部と下部地殻の力学的相互作用
14:05-14:15	奥平 敬元	大阪市立大学大学院理学研究科	下部地殻岩に記録された脆性破壊-塑性変形過程
14:15-14:40	松本 聡	九州大学大学院理学研究院	応力・亀裂方位分布および余震分布から何が分かるのか?:地物と地質との融合にむけて
14:40-14:50	小林 健太	新潟大学大学院自然科学研究科	鳥取県西部地域に発達する断層観察:地震観測との融合を目指して
14:50-15:05	廣野 哲朗 亀田 純	大阪大学大学院理学研究科 北海道大学大学院理学研究院	断層観察と断層岩分析の融合
15:05-15:30	議論(25分)		

休憩(15:30-15:45)

15:45-17:45 B02班発表			
15:45-16:10	清水以知子	東京大学大学院理学系研究科	計画研究B02「岩石変形実験による地殻の力学物性の解明:流体の影響」の概要
16:10-16:30	武藤 潤	東北大学大学院理学研究科	岩石の遷移粘弾性挙動と東北沖地震の余効変動
16:30-16:50	大橋 聖和	千葉大学大学院理学研究科	長期的な物質・組織変化による断層強度変遷
16:50-17:10	星野 健一	広島大学大学院理学研究科	地殻流体の熱力学
17:10-17:30	土屋 範芳	東北大学大学院環境科学研究科	地殻エネルギー・フロンティア研究との連携とICDP掘削
17:30-17:45	議論(15分)		

18:00-20:00懇親会(会場:生協)

第3日目 10月21日(火)

9:00-11:00 A02班発表			
9:00-9:20	鷺谷 威	名古屋大学減災連携研究センター	計画研究A02「異なる時空間スケールにおける日本列島の変形場の解明」の概要
9:20-9:35	高田陽一郎	京都大学防災研究所	構造発達史と現在の運動の関係
9:35-9:50	三浦 哲	東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター	東北地方太平洋沖地震後の奥羽脊梁山脈沿いの余効ひずみ異常域
9:50-10:05	大坪 誠	産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門	地質・地形情報に基づいた東北日本弧歪み集中帯の長期歪み復元: 既存研究レビューと今後の展開
10:05-10:20	田上 高広	京都大学大学院理学研究科	山岳熱史解析から見た日本列島の長期歪み復元:既存データのコンパイルと今後の展開
10:20-10:35	深畑 幸俊	京都大学防災研究所	変動帯テクトニクスの全体的枠組みと課題
10:35-11:00	議論(25分)		

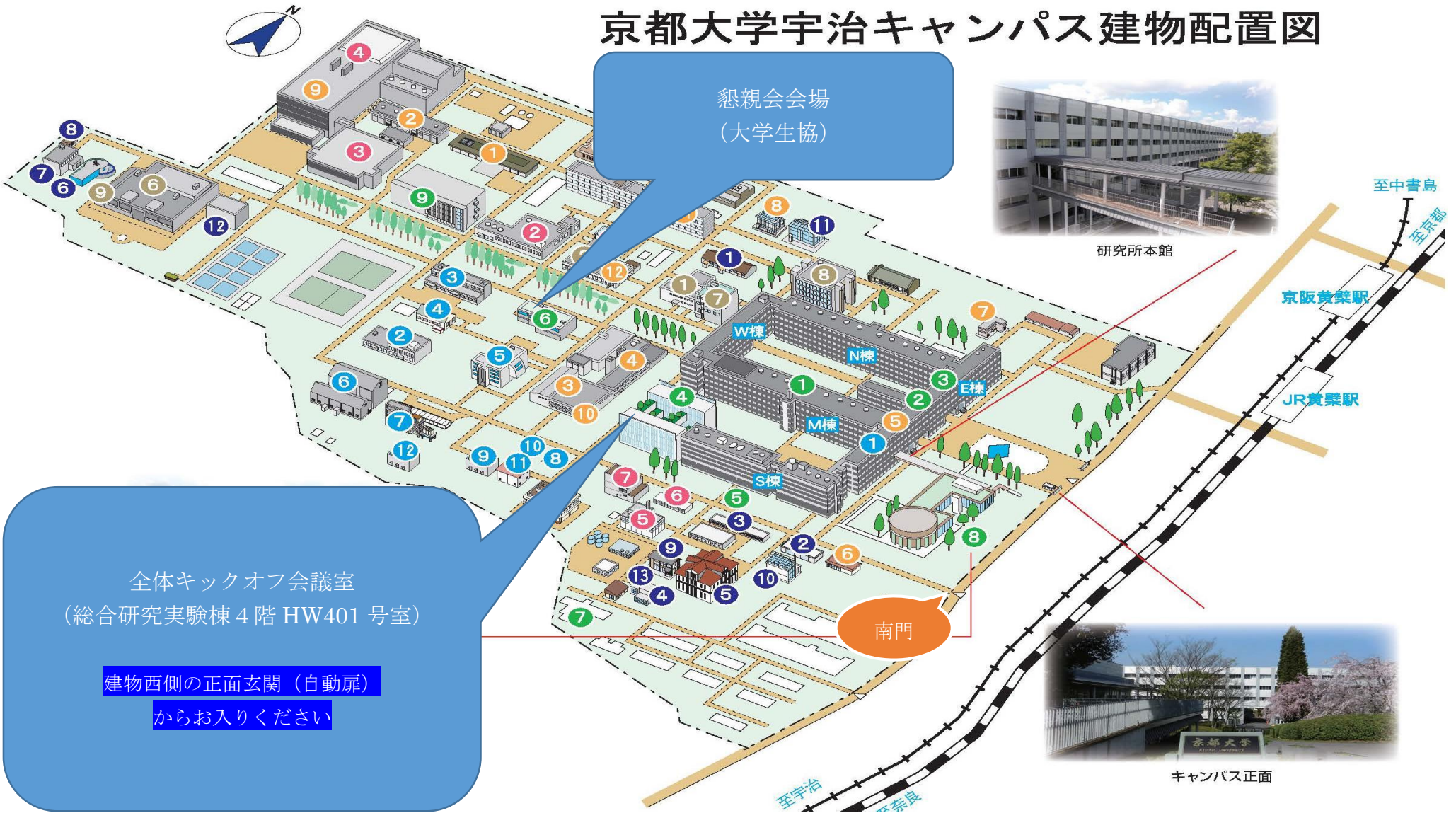
休憩(11:00-11:10)

11:10-13:00 C01班発表			
11:10-11:30	芝崎文一郎	建築研究所国際地震工学センター	計画研究C01「島弧地殻における変形・断層すべり過程のモデル構築」の概要
11:30-11:48	飯沼 卓史	東北大学災害科学国際研究所	海陸地殻変動観測に基づく東北地方太平洋沖地震の余効変動モデリング
11:48-12:06	西村 卓也	京都大学防災研究所	ひずみ集中帯(新潟、山陰)の地殻変動とモデル化
12:06-12:24	安藤 亮輔	東京大学大学院理学系研究科	余震活動と断層のレオロジー
12:24-12:42	野田 博之	JAMSTEC(海洋研究開発機構)	Significance of A/B on the interseismic behavior of a seismogenic patch in a rate-state earthquake sequence simulations
12:42-13:00	議論(18分)		

13:00-14:00 昼食

14:00-15:15	総合討論(評価者コメント、今後の研究の進め方、研究集会予定) 司会:飯尾・竹下		
-------------	---	--	--

# 京都大学宇治キャンパス建物配置図



懇親会会場  
(大学生協)

研究所本館

全体キックオフ会議室  
(総合研究実験棟 4階 HW401 号室)

建物西側の正面玄関 (自動扉)  
からお入りください

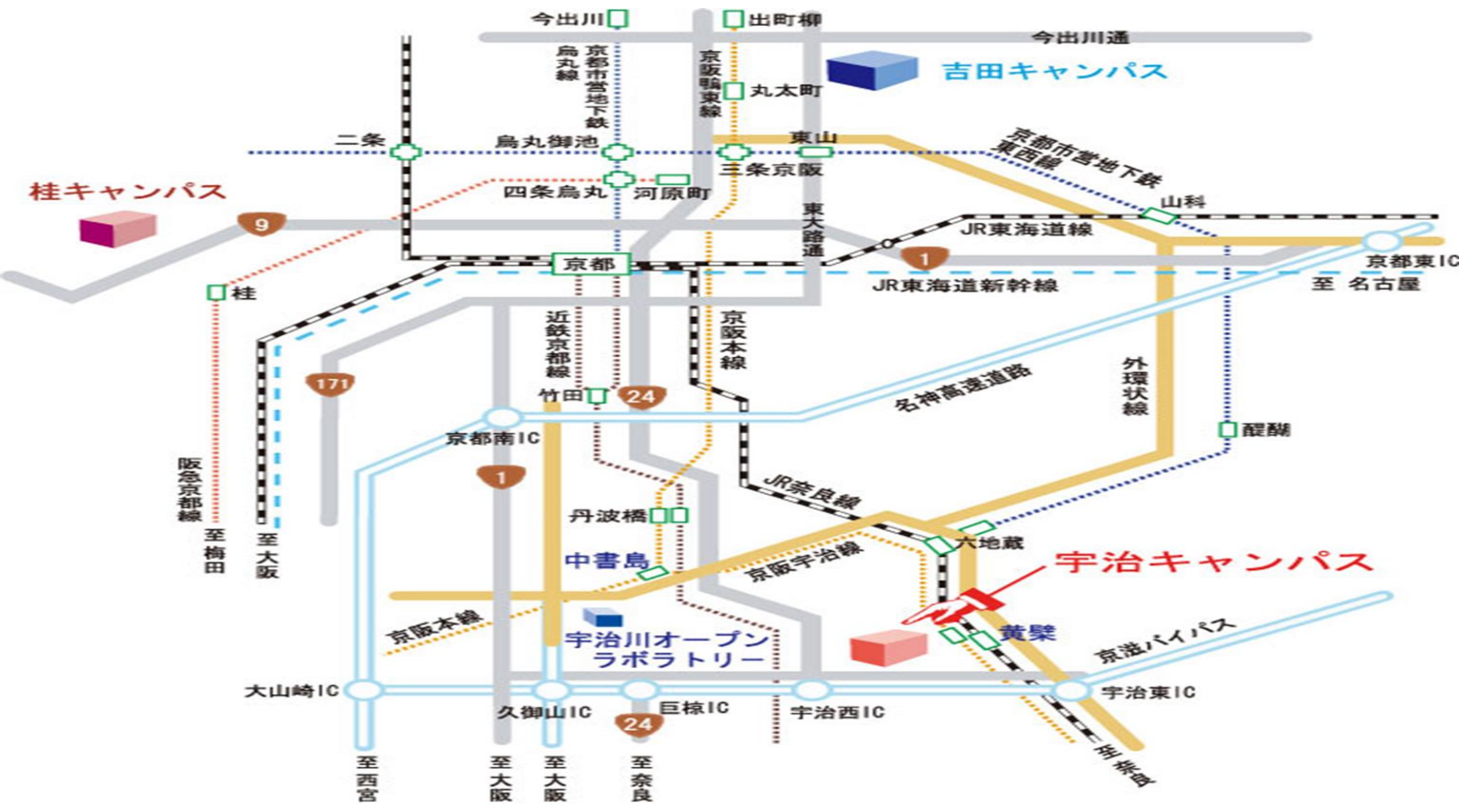
南門

キャンパス正面

# VICINITY OF UJI CAMPUS

宇治キャンパス周辺マップ





- 京阪宇治線「黄檗」駅下車 徒歩 6 分
- J R 奈良線「黄檗」駅下車 徒歩 5 分

京阪宇治線「黄檗」下車 徒歩約 10 分 (京阪三条→黄檗 所要時間 35 分)  
 J R 奈良線「黄檗」下車 徒歩約 7 分 (京 都 →黄檗 所要時間 20 分)